

おがわ

議会だより
チェック・アズド・バランス

Proudi
Japan

写真：大河保育園

No. 64

2012.8.1

小川小(体育館・管理棟)の耐震工事はじまる！

町民の声を町政に 10 人が一般質問 P.6



想定震度にそなえて

耐震工事はじまる！



小川小学校児童引取訓練

災害時に迎えに来ていただく場合の訓練の様子



小川小学校 1億5708万円 (体育館・管理棟)

西中学校改築準備とあわせて職員の協力体制は



徹底議論
を経て可決

今定例会では、小川町税条例の一部改正など専決処分の承認を求める議案を含めて6件、公平委員候補者の推薦2件、議員提出議案1件が審議され、すべて可決・同意しました。
一般質問は10人が登壇し、当面する諸問題について町の見解や対応をただし、政策提言を行ないました。

課を超えて協力する体制は？
児童の安全確保は？
廃棄物処理の安全徹底は？

《主な質疑》

問 小川小学校の耐震工事と西中学校の改築準備が同時に進む中、教育委員会だけでなく、他の課も協力する体制はできているのか。

答 町を挙げての大切な工事として、全体でしっかりと取り組んでいきます。

問 子どもたちの安全は確保されるのか。

答 工事車両の出入り、足場の設置など、十分な配慮をし、絶対に無事故に終わらせません。

問 壁や天井など非構造部材

の耐震対策は。

答 体育館は壁をほとんど取りかえる形の工事になります。

問 工事に伴う廃棄物は、法律に基づいて処分されるのか。そのような観点からいけば、環境衛生課とも積極的に協力していくべきではないか。

答 建築資材の再資源化法・廃棄物処理のマニフェストに基づき、環境衛生課とも協力し、取り組みたいと考えています。

平成24年度

補正予算

《主な質疑》

問 防災計画見直し作成の委託料が計上されているが、具体的に見直すところは。

答 被害想定や避難所設置、備蓄品等の内容、広域的な放射能汚染への対応などです。大人用の紙おむつ、女性用の下着、衛生用品、避難所の間仕切り等は現行の中にも含まれていないため、見直しを考えています。避難所の運営に高齢者や女性への具体的な配慮等も盛り込む必要があり、今後検討を重ねて計画づくりを進めます。

支援学級を
新たに設置

問 備品購入費が計上されているが、新しく学級ができたのか。

答 竹沢小学校で情緒障害児学級を新設。大河小学校と樺台中学校は、発達障害や情緒障害のお子さんを通常学級に在籍しながら支援をしていく通級指導学級教室を新設しました。加配の教員も配置され、それに伴って教育上必要な備品を整備します。

意見書の提出

議員提出議案

国による子ども医療費無料制度の創設と国民健康保険療養費国庫負担金の減額廃止を求める意見書

議員全員賛成で議決し、内閣総理大臣をはじめ関係大臣に提出しました。

視 察 をふまえての 調 査 研 究 報 告

総 務 常任委員会

調査研究テーマ

当町における防災体制
と住民の意識の確立

埼玉県寄居町・山梨県南アルプス市を視察



寄居町 DATA 人口 3 万 6267 人
(平成 24 年 2 月現在)
古くは秩父往還の街道筋にあり、宿場町として栄え、鉢形城の城下町でもあった。

南アルプス市 DATA 人口 7 万 3835 人
(平成 24 年 3 月現在)
主峰北岳を頂点とした東西に細長い形で、夏は気温が高く、冬には「八ヶ岳おろし」が吹き、朝晩の冷え込みが強い内陸性気候の地域である。

寄居町にある(株)ワンピシアークアイプズでは、地表近くに強固な岩盤があるなど、地質的な特長と都心に近いという恵まれた条件を生かし、企業及び公共の文書やデータを保存する業務を行なっている。

南アルプス市では「学校施設のエコ化」のために国の補助金を積極的に活用し、小中学校に太陽光発電システムを設置。今後は、国庫補助を利用した蓄電池の導入も考えているとのことである。

考察 当町は、地理的条件などが寄居町と同様ではあるが、いつ起こるか分からない自然災害から住民の安全・安心や行政基盤を確保するため、国の後押し(補助事業)などを積極的に活用できる組織体制を整え、さらなる防災体制の充実が必要である。以上提言した。

経済建設 常任委員会

調査研究テーマ

環境負荷の軽減策としての太陽光発電システムの新エネルギー化の検証

山梨県南アルプス市・同県北杜市を視察



北杜市 DATA 人口 4 万 8857 人
(平成 24 年 3 月現在)
ミネラルウォーターの生産量日本一。豊かな自然環境に恵まれた地域。

クリーンで安全、そして無限のエネルギーとして「太陽光」の活用が注目されている。南アルプス市では、国の助成制度を活用し、95%の国庫補助で小中学校・庁舎等の公共施設に太陽光発電設備を導入し、財政的にも大きなメリットを上げている。

考察 当町においても、今後の町事業を転換する中で、太陽光発電システムに取り組むべきと考える。具体的な施策として、学校や庁舎をはじめとする公共施設への設置について、各課横断的に取り組む体制を速やかに確立していただきたい。

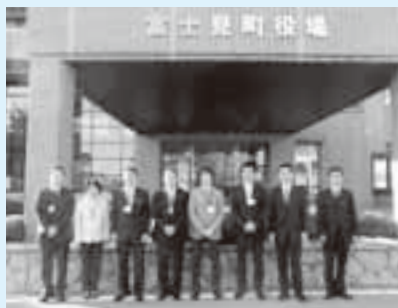
当町の地理地形など、恵まれた自然環境の保全と活用を最大限生かせる施設として、北杜市で実証しているメガソーラー発電システム事業を、国や県企業を巻き込んで積極的に展開し、「クリーンで再生可能なエネルギーの町」を確立することも今後のまちづくりの一策になると考える。個別太陽光発電システムと同様に、早期に取り組むことをあわせて望むものである。

厚生文教 常任委員会

調査研究テーマ

少子社会到来に対応した学校のあり方

長野県富士見町・同県信濃町を視察



富士見町 DATA 人口 1 万 5328 人
(平成 23 年 3 月現在)
「世界に展かれた高原の文化都市」づくりを目標として、ハイテク産業や観光の町として発展。

信濃町 DATA 人口 9548 人
(平成 23 年 10 月現在)
俳人小林一茶の生誕・終焉の地として知られ、県内外から多くの人が訪れている。

両町は少子化対策として、学校の適正規模と望ましい教育環境の実現に向けて、統合と小中一貫校を実現させ、多くの児童・生徒の中で切磋琢磨して受ける授業や個性を伸ばす部活動を進めている。

我が町で育つ小中学生を、どんな環境に置くか、すべての人が知恵を出し合いながら、子どもたちの利益を考えなければならないと力説していた。

考察 少子化による児童・生徒の減少があり、そして今日の不況と財政悪化という中で、自分たち地域の学校を誇りに思えるような教育環境をつくるためには課題が多い。

今後の少子化がますます進む中で、子どもたちの最善の利益を保障するため、執行部に対して財政状況を念頭に置きながらも、学校の今後のあり方を十分検討するよう強く提言した。

議会運営 委員会

調査研究テーマ

議会及び議員のあり方

長野県軽井沢町を視察



軽井沢町 DATA 人口 1 万 9213 人
(平成 23 年 4 月現在)
1 年を通じ多くの保養・観光客が訪れ、国際的保健休養地として名高い。

議員の意識改革とスキルアップにより、よりよい議会の構築を図るべく、先進地である長野県軽井沢町議会を視察した。

軽井沢町議会では、議員が直接住民と向き合えるよう、議員ハンドブックを作成・活用するなどして、個々の議員が、議会の様子を積極的に住民に伝える「情報の公開」に対する意識が高い。住民参加による政策の展開を図ることにより、住民とともに軽井沢町にふさわしいまちづくりを進めるため、執行部と切磋琢磨している姿が感じられるとともに、対応いただいた議員個々のスキルの高さが感じられた。

考察 議会基本条例は、住民の負託にこたえるため住民参加型の議会を目指し、改革を継続し発展させるために制定されたことも十分に感じられた。

本会議においては、住民や執行部に対する議会の本来あるべき姿を再確認し、議決機関としての役割を自覚する。まさに意識改革が議会改革に重要な役割を果たすと認識した。

議会・意識の両改革を進める上で、基本条例の制定に向けても定期的な研修会を実施することを提言した。

審議議案と議員の賛否

議 案 名	柳田多恵子	井口亮一	高瀬勉	島崎隆夫	柴崎勝士	山口勝	高橋さゆり	大戸久一	金子美登	松葉幸雄	宮澤幹雄	根岸成一美	小林一朗	大塚司朗	戸口勝三	松本修三	審議結果
専決処分の承認(税条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
専決処分の承認(都市計画税条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
小川地区衛生組合の規約変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成 24 年度一般会計補正予算(第 1 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
公平委員会委員の選任(2 件)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
町立小川小学校管理棟・渡り廊下・屋内運動場耐震補強工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案																	
国による子ども医療費無料制度の創設と国民健康保険療養費国庫負担金の調整(減額)廃止を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します (○は賛成、×は反対)

小川地区衛生組合議会報告

空気予熱器等更新工事を発注!!

工事費

2 億 6880 万円

落札者 荏原環境プラント(株)
(東京都大田区)

工事箇所



ごみ焼却場は、昭和 51 年 7 月に稼働し、36 年が経過している。この種の施設の耐用年数は 15 年程度であり、ダイオキシン等の有害物質の発生を防ぐため、平成 12 年～13 年度で公害防止対策工事は行なっているが、毎年多額の維持補修費を要しながら、今日まで運転を続けている。

今回、小川地区衛生組合議会に提案された「空気予熱器等更新工事」は、全会一致で可決した。

1 日も早いごみ焼却場の新設改良が求められている。

議会に進捗を説明

7月17日、議会全員協議会を開催し、教育委員会から西中学校改築工事基本・実施設計について説明を受けました。本会議で意見の多くあった木造についての見解は示されず、設計はRC（鉄筋コンクリート造）構造とし、木質系内装材を可能な限り使用することでした。説明されたポイントは

- ①木材の使用（地場産材を可能な限り使用したい）
- ②和紙（細川紙）の使用
- ③災害避難所施設としての使用を考慮
- ④省エネルギー化（太陽光発電・雨水利用等）

議会からの要望は

- 説明を受け、議会側からは下記のような要望をしました。
- 地場産活用（木材、和紙など）は、最大限取り組んでもらいたい
 - 工事発注に当たっては、JV（共同企業体方式）、分離発注などで地域経済活性化のための工夫をすること
 - 避難所としての機能は、細部にわたって設計にしっかりと盛り込むこと
 - 工事管理を厳しくするためにも、工事管理者は設計者と分離して発注すること
 - 設計・建築に精通した職員をきちんと配置すること
 - 敷地を活かして、特に体育館等建設場所の配置は再考されたい

残念ながら木造化には至りませんでしたが、最大限の木質化をはじめ、議会はよりよい西中学校が建設されるよう、今後もしっかりとチェックしてまいります。

西中学校改築事業
その後の状況は？

町民の声を
町政に

町政をたず

一般質問とは、議員が役場の仕事について、町長の考えや意見を求め、事柄をただしたり、議員や町民の意見などを述べることをいいます。議員1人の持ち時間は75分に定められており、議会だよりでは、このやりとりを要約して報告しています。今議会では、10人の議員が一般質問を行ないました。

一般質問席



健やかに育って

答弁 健康増進課長 任意接種である水ぼうそう、おたふく風邪ワクチンについては3市1町、ロタウイルスワクチンは2市1町が、助成または助成をすると聞いています。

質問 予防医療に力を入れることは、子育て支援の重要な施策の一つである。県内自治体の予防接種助成の現状は。

質問 特にロタウイルス

は5歳までに100%かかり、乳幼児の脳炎、脳症の大きな要因となっている。自己負担を1000円とする自治体もある。3万円という高額な接種費用を、せめて他のおたふく、水ぼうそうなどの単価（8000円〜9000円）と同じくらいに引き上げる助成はできないか。

答弁 町長 財政の問題もありますが、子育てと高齢者をできるだけ支援する方向性は持っています。

西中の建てかえは木造で

質問 県の指針では、原則として延床面積が3000平方メートル以下の低層の公共建築物は、すべて木造建築とされている。西中の建てかえは木造で、地元事業者を活用し、建設準備委員会を立ち上げ、多様な意見を設計に生かすべきではないか。

答弁 学校教育課長 木造とRC構造（鉄筋コンクリート）で比較検討しています。地場産木材を活用した木質化は基本設計の中に盛り込みます。その都度、必要に応じて説明会は開きますが、委員会は立ち上げません。

その他の質問

- ◎通学路の安全対策
- ◎放射能汚染から子どもたちを守る対策

安全・安心のまちづくり

橋りょうの調査結果の公表を

ホームページで公表している

質問 橋りょうの劣化・強度・耐震の調査結果を、住民に公表するべきと思うが、また、危険な橋りょう等があったのか。その場合の対策は。

答弁 建設課長 町内河川にかかる15メートル以上の橋の調査結果は、町のホームページに公表しています。また、今回の調査では、安全性の観点から緊急に対応が必要な箇所はありませんでした。「長寿命化修繕計画」を策定し、予防的な修繕、計画的な修繕、かけ替えへと

転換を図り、地域の道路の安全を確保していきたいと思っています。

質問 災害時の情報収集として、庁舎内の非常用回線を含んだ回線数は、また、新事業として「防災情報メール配信サービス」の構築と開始時期は。

答弁 総務課長 回線数は36回線です。非常回線として光とアナログを2回線ずつ確保しています。防災情報のメール配信サービスは、導入に向けて

検討しています。今後、防災講座等の啓発活動に取り組み、現在自主防災組織は26団体となり、世帯数から算出する組織率は、4・9ポイント増えて44%となりました。今後も結成に向けて助言と工夫をし、向上に努めます。

その他の質問

- ◎土砂災害防止法に基づく基礎調査



宮澤幹雄 議員



役場電話交換室

まちづくり

生きがいのある町、定住したいと思える町を目指して

企業誘致の促進や生活環境の充実を図る



島崎隆夫 議員

質問

定住者の増加に向けて、促進策を打ち出してほしい。

答弁

政策推進課長 災害に強いまちづくりや企業誘致を促進します。さらに、住民生活環境の充実を図り、定住者の増加を目指します。

質問

市街化調整区域の見直し

と、都市計画の再構築について。

建設課長 昭和54年9月に都市計画が決定されました。見直しは、平成3年12月にありまし

た。市街化区域内での十分な土地利用がなされていない現状では難しいですが、社会経済情勢の変化に応じて検討する必要があると思

健康で生きがいのある町へ

健康な方をたえ、特典を付することはできないのか。

質問

町民生活課長

度は、国民がいつでも安心して治療が受けられることを保障しており、大変意義のあるものだと思います。当町としては、今後も予防医療に必要な各種検診、特定健康診査等の推進や地域での健康づくりへの支援を行なうことで、医療費の適正化を推進します。また、顕彰活動については、研究していきます。

医療の町として特化するために、さまざまな予防接種に対して最低でも半額を町負担とすることはできないのか。

質問

健康増進課長

国の予防接種法の改正の動向を注視してまいります。

その他の質問

◎『小川町文化財保護条例』の現況確認
◎もっと文化財を生かして観光産業を育ててほしい



「定住したい町、おがわに」

まちづくり

たくさんの人が訪れる町に

活性化に取り組みたい



山口勝士 議員

質問

町の活性化の言葉が、住民の皆さんから出ない日はない。住民総所得から見ても、国による町の類型V-2を見ても、第3次産業（商業・サービス業）が特色である。たくさんの人が町を訪れ消費するための、具体的な手だてこそ優先的にやるべきではないか。

答弁

産業観光課長 当町としてできること、やらなければならないことを的確に見きわめ、活性化に取り組みたいです。

地域経済の成長戦略

ホンダに勤務する方を小川町に

宅地建物取引事業所にあっせん等をお願いする



井口亮一 議員

質問

当町でも企業誘致が実現した今、ホンダ進出による経済効果が目に見える形で実現しようとしている。

そこで、ますます重要性を増す地域経済の成長戦略については、ホンダに勤務する人たちに、当町に住んでもらえるような積極的な誘導策はあるのか。

答弁

産業観光課長 現在の狭山工場に勤務する方が来る場合を仮定すると、小川工場、寄居工場への通勤時間は45分程度であり、大部分の方が通

既存住宅地の開発協定の見直しは

質問

みどりが丘1丁目はいづろ行政区に格上げするのか。

答弁

建設課長 地元とも相談しながら、検討していきます。

質問

東小川地区とみどりが丘地区の防犯灯の電力料金は、開発協定を根拠に住民負担とされているが、住民サービスの公平性に著しく反しているのではないか。

答弁

建設課長 開発業者から自治会に一部引き継がれた開発基本協定は20年以上経過しており、見直す必要があれば、協定内容を自治会等と協議していききたいと思います。

住民サービスの向上に

質問

震災の心配が高まる中、自助の基本として「家具の転倒予防対策」の重要性が言われている。しかし高齢化の中でそうした作業ができない世帯も増えている。そこで一定の契約のもと、シルバー人材センターに相談したところ、「作業に要する知識や先進事例を調査確認し前向きに検討したい」とのこと。町も状況をしながら協力したい。

答弁

総務課長 シルバー人材センターに相談したところ、「作業に要する知識や先進事例を調査確認し前向きに検討したい」とのこと。町も状況をしながら協力したい。

防災への女性の参画を

質問

東日本大震災の現場では、女性が悲しみの中大活躍してくれました。当



避難所で食後の団らん

その他の質問

◎粗大ごみの休日搬出を可能に
◎町職員の「行政区担当制」を

安全・安心な町

小川赤十字病院建てかえ計画は

地元として中心的な役割を担っていききたい



小川赤十字病院



高橋さゆり 議員

質問 総事業費55億円予定で、10億円の財源不足を生じており、町をはじめ、近隣町村に財政支援を呼びかけている。「当町が中心となり支援を検討」と報告

質問 総事業費が10億8000万円で予定価格が4730万円の設計を、(株)平安設計が1410万円で落札した。設計内容、品質に影響してこないか。

答弁 学校教育課長 近隣での同種建物、当町での実績があり、設計内容、品質に問題はありません。

質問 木造か鉄筋コンクリート造か、非常に大切なことなので、基本設計、検討資料が提出された段階で、必ず議会に明らかにしてほしい。

答弁 学校教育課長 報告します。

質問 体育館は防災拠点になっていくが、設計仕様書では、当然必要な、太陽光発電、蓄電設備、発電設備等にふれていない。設置予定はないのか。

答弁 学校教育課長 報告します。

人にやさしい
安全・安心な
まちづくり

質問 街中に行くほど歩道状況が悪い。①これらの現状を把握しているのか

答弁 建設課長 ①非常に歩きにくく、東松山県土整備事務所に要望しているところ。②道路で幅員5・5メートル以上の改良済町道の歩道整備率は約75%です。

その他の質問

- ◎子どもたちの安全
- ◎介護保険
- ◎西中学校改築



木造の萩ヶ丘小学校(ときがわ町)

がおざなりになりがちで、完成品の強度、機能等に大きく影響してくとると思う。町の管理体制が非常に重要だが、対応は。

答弁 学校教育課長 全力で取り組みます。

質問 木造か鉄筋コンクリート造か、非常に大切なことなので、基本設計、検討資料が提出された段階で、必ず議会に明らかにしてほしい。

答弁 学校教育課長 報告します。

質問 体育館は防災拠点になっていくが、設計仕様書では、当然必要な、太陽光発電、蓄電設備、発電設備等にふれていない。設置予定はないのか。

答弁 学校教育課長 報告します。

質問 総事業費が10億8000万円で予定価格が4730万円の設計を、(株)平安設計が1410万円

答弁 学校教育課長 近隣での同種建物、当町での実績があり、設計内容、品質に問題はありません。

質問 木造か鉄筋コンクリート造か、非常に大切なことなので、基本設計、検討資料が提出された段階で、必ず議会に明らかにしてほしい。

答弁 学校教育課長 報告します。

質問 体育館は防災拠点になっていくが、設計仕様書では、当然必要な、太陽光発電、蓄電設備、発電設備等にふれていない。設置予定はないのか。

答弁 学校教育課長 報告します。

小川西中改築工事

設計内容・品質に影響はないか

実績があり、問題ない業者。町も全力で取り組む



大戸久一 議員

質問 政策推進課長 先進的な事業展開をしている行政区の活動を紹介します。広く周知を図ります。

質問 職員による、行政区の担当の導入は。

答弁 政策推進課長 各地区で行なわれているさまざまな事業に、町職員として一翼を担うだけでなく、一町民として積極的な参画を促します。

質問 住民参画の重要性と、協働によるまちづくりの新たな事業や考えは。

答弁 町長 私人が力んでもできることはたかが知れています。町全体で方向性一つにして、協力していかねばなりません。今後の行政運営もその理念をベースに取り組みでまいります。

協働のまちづくり

さらなる住民の参画を

環境整備に努めます



高瀬 勉 議員

質問 元気なまちづくり補助金の概要とその周知の徹底は。

答弁 政策推進課長 元気なまちづくり補助金交付要綱に基づき、行政区の住民参加による自主的な事業に対し、経費の一部を補助するものです。行政区内のコミュニティの推進、ふれあいの場を深めるために積極的な活用を毎年、区長さんを通してご案内しています。

質問 一行政区一事業の推進と表彰制度等の創設は。



世代を超えての楽しい料理教室

農業支援

「人・農地プラン」の推進

若い農業者への支援を行なっていく



金子美登議員

は別に県の事業として一定条件を満たした者に最長2年間、150万円ずつ給付されます。経営開始型は市町村事業として、一定要件を満たした者に最長5年間150万円ずつ給付されます。

また、農地集積のための対策では、経営面積拡大のため、地域ごとの人・農地プランに位置づけられた担い手に、農地の集積を促す対策として、農地集積協力金等が盛り込まれています。まだ具体案が示されていませんが、町として事業の担い手、とりわけ若い農業者確保と支援を行なっています。

質問

本年度から始まった農林水産省の「人・農地プラン」事業に対する町の取り組みは。

答弁

産業観光課長「人・農地プラン」は農業の再生に向け、国が今後5年間の行動計画で、次の4施策を設けています。
①農地集積のための総合的な対策 ②青年新

規就農者の倍増（毎年2万人） ③集落営農の組織化 ④機械・施設の導入。
これらのうち、新規就農者対策は、就農前の研修者等を対象とした「青年就農給付金（準備型）」と、新規に独立・自営就農した者を対象とした「青年就農給付金（経営開始型）」とがあり、準備型は国と



有機農業で独立を目指す研修生

請願審査

未着手請願は、どうするのか

条件が合えば着手する

質問

町に対する請願書は、今必要とされる町民の熱き思い（願意）を議会が必要と認めたとき、最大限の対応となる全員一致での可決・採択がなされ、町に送付される。未着手案件は、どうなっているのか。

答弁

政策推進課長平成12年から平成23年までの請願書のうち、完了したもの3件、現在着手3件、予定3件、要検討1件です。

質問

平成12年以前のものについては、すでに着手済み

なのか。

答弁

政策推進課長調査不十分で、回答できません。

質問

先の町長選挙の際、笠原町長は「まだやり残したことがある」という強い思いで出馬をされた。町民は、この4年間を笠原町政の集大成と考えており、未着手請願に関しても期待をしているが、その対応は。

答弁

町長 こまでと聞かれない限り、区切りをつけて回答するのは常識的に不自然ではない。平成12年以前のものについては、言ってもらえれば答えます。また、請願内容ですが、条件にかなうものがあれば財政と相談し着手していきたい。

その他の質問

◎人口減と対策

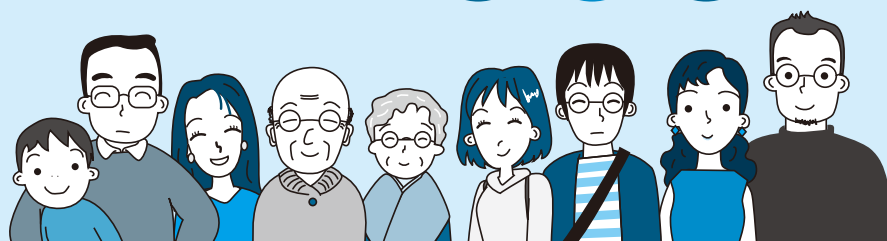
◎西中学校建築と樺台中学校



管路の改修助成の請願が採択された
深田団地の下水処理施設

町民みなさんのひ3ば

わたしのひとこと



スポーツ施設の充実を

神明町 大木恵美子



私は町のスポーツ推進委員として、住民のスポーツ振興・スポーツ行事・事業等の協力をさせていただいています。当町のスポーツ施設の充実に関して意見を言わせていただけるなら、総合体育館の早期建設、児童・幼児等が安全に遊べ、幅広い年代がウォーキング等で楽しめる公園・広場、多少の雨でも利用できるテニスコート（オムニコート）及びナイター設備等々スポーツを愛し楽しむ者としての希望がたくさんあります。

近隣の市町村では既に充実しているように思います。「健康・スポーツの町」宣言を掲げている小川町として、町民がスポーツ・レクリエーション等を楽しめるように施設の充実に力を入れていただければ、町の発展のため、町民の代表として努力されている議員の皆様の積極的な取り組みを期待します。

活気ある町に

緑町 加藤恵子



小川町の緑町に住み始めて、11年余りが経過しました。家の近くには栃本の堰があり、窓を開けると川のせせらぎが聞こえ、山の緑も見えるとても住みやすいところだと思います。

さて、緑町は年中行事の盛んなところ。7月は七夕祭り、12月は酉の市、2月は節分祭と大きなものはこの3つがあります。七夕祭りは町として行われる行事ですが、酉の市、節分祭は緑町を中心にとり行うため、区長をはじめ役員及び区内の皆様には大変ご苦労があるように思われます。私も区内の一員として、微力ではありますが行事に参加させていただいております。

少子高齢化が進んでいる中で、このような伝統行事を続けていくために、町内の皆様にはこれからも絶大なご協力をお願いしたいと思います。

我が町再発見 下里ささら獅子舞



奉納される獅子舞

下里ささら獅子舞は、古くは7月13日～15日の3日間、下里八宮神社、八坂神社、大聖寺に奉納してきました。昭和39年に一時活動を休止し43年に復活、保存会を発足いたしました。

現在に至るまで大人から子どもたちへと引き継がれ、練習も6月中旬から毎日曜日を中心に行なっています。ことしは、7月15日の午前中は八宮神社、午後は大聖寺に奉納いたしました。真夏の一日、下里4区センターから奉納寺社まで、太鼓や笛の音が響き^{おどそ}やかな気持ちになります。



下里ささら獅子舞保存会笛太鼓指導員 関根俊治



議員 記者クラブ

シリーズ 安全・安心の主役たち④

「青少年補導員」

青少年補導員は町内各地区から選出され、町長が任命する形になっていますが、まったくのボランティアとしての活動になります。地域ごとのお祭りや七

夕祭りなどでのパトロール、学校周辺の見回りなど、町の安全・子どもたちの安全に欠かせない団体です。人数は124人、今回はそのリーダー大塚利雄委員長取材しました。



Q 具体的にはどんな活動があるのですか？

A 学校との連携による、周辺の見回り。例えば「変質者が出た」という情報を得れば、その場所を集中的に見回ります。地区ごとのお祭りでのパトロールも大事な仕事です。おみこしが練り歩くときには交通整理もしたりしますね。

Q 子どもたちのために、いろいろなことをしてくださっているんですね。「補導」という部分では？

A 警察とは違うので、直接補導することはできません。でも声かけをしたり、必要なら警察に連絡もします。非行や犯罪につながらないよう、早めに見つけて手を打ってあげたいと心がけています。

Q 読者に伝えたいことは何かありますか？

A 研修で、少年刑務所などにも行きますが、一度犯罪に手を染めてしまうと、そこから抜け出すことがいかに大変なのかを実感しました。そうならないためにも、みんなで連携することが大切です。

Q 今後考えていらっしゃることは？

A 地域と学校の連携の橋渡しになれば。学校と情報を共有しながら、「声かけ」や「励まし」ができたと思っています。

担当：山口

編集後記

8月号は2～3ページに小川小学校の耐震工事を報告させていただきました。3.11 東日本大震災以降、NHK テレビなどで震災対策情報を放映して、皆さんに注意を促しています。

首都直下型地震も数年後には起きることを前提に、物事

を考えるよう奮起をしております。

町は、八和田小、東中、小川小の耐震工事を進め、西中は地震に強い改築工事に取り組んでいます。行政のやるべき対策の役割、家庭は何を準備すべきか、真剣に考えておくことが必要と考えます。

編集委員 小林一雄

この広報は古紙を配合した紙を使用しています。



議会だより おがわ No.64

小川町議会だより 64号

平成24年8月1日発行

発行：埼玉県小川町議会 編集：議会広報発行特別委員会

〒355-0392 埼玉県比企郡小川町大字大塚55番地

TEL 0493-72-1221 FAX 0493-74-6877

http://www.town.ogawa.saitama.jp/kurashi/gikaiinfo

議会広報発行特別委員会

議長	松本 修三
委員長	柳田多恵子
副委員長	山口 勝士
委員	小林 一雄
委員	柴崎 勝
委員	大戸 久一
委員	高瀬 勉

議会を傍聴してみませんか

議会では町民の皆様の生活に直結した重要な問題が審議されています。ぜひ傍聴にお越しください。

次回定例会の開会予定は

9月3日(月)です